

<p>パネルディスカッションⅢ</p>	
<p>15:00</p>	<p>開場</p>
<p>15:10 – 16:40</p>	<p>持続的発展実現のための社会的共通資本</p> <p>社会的共通資本は、都市インフラや自然環境のような、市場での評価が難しい公益的な価値を生み出す資本です。わが国が中長期的に持続可能な発展を実現し、豊かな経済社会を構築するためには、社会的共通資本はどのような役割を果たすのか、今後のあるべき姿について考えます。</p>
<p>【パネリスト】</p>	<p>間宮 陽介 氏（京都大学名誉教授）</p> <p>國則 守生 氏（法政大学人間環境学部教授）</p> <p>岡部 明子 氏（千葉大学大学院工学研究科教授）</p> <p>諸富 徹 氏（京都大学大学院経済学研究科教授）</p> <p>薄井 充裕（設備投資研究所長）</p>
<p>【モデレーター】</p>	<p>内山 勝久（設備投資研究所地球温暖化研究センター長）</p>

間宮 陽介 氏 京都大学名誉教授
1972年東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科修了後、神奈川大学経済学部助教授、同教授等を経て、京都大学大学院人間・環境学研究科教授に就任。2013年京都大学名誉教授。専門は経済思想,社会経済学。主な著書に『市場社会の思想史』(中公新書),『モラル・サイエンスとしての経済学』(ミネルヴァ書房),『雇用、利子および貨幣の一般理論〈上・下〉』(訳書,岩波文庫)など。

國則 守生 氏 法政大学人間環境学部教授
1973年一橋大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現・日本政策投資銀行）入行。イエール大学大学院留学。1997年設備投資研究所副所長,1998年調査部長。この間、設備投資研究所地球温暖化研究センター設立（1993年）・運営に関与。2001年より法政大学人間環境学部教授。2013年同学部長。専門は環境経済学。主な著書に『地球温暖化の経済分析』,『制度資本の経済学』(いずれも共編,東京大学出版会)など。

岡部 明子 氏 千葉大学大学院工学研究科教授
1985年東京大学工学部建築学科学卒業後、スペイン給費留学。磯崎新アトリエ（バルセロナ）を経て、1989年同大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。欧州をフィールドにした建築ジャーナリスト,同大学院新領域創成科学研究科助手などを経て、2004年千葉大学助教授。現在同教授。東京大学博士（環境学）。専門は都市政策,建築デザイン。主な著書に『持続可能な都市』(共著,岩波書店),『バルセロナ』(中公新書)など。

諸富 徹 氏 京都大学大学院経済学研究科教授
1993年同志社大学経済学部卒業（在学中にドイツ・マインツ大学に留学）。1998年京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。同年横浜国立大学経済学部助教授,2002年京都大学大学院経済学研究科助教授・准教授を経て、2010年同教授。京都大学博士（経済学）。専門は財政学,環境経済学。主な著書に『環境税の理論と実際』(有斐閣),『環境政策のポリシー・ミックス』(編著,ミネルヴァ書房)など。

薄井 充裕 日本政策投資銀行設備投資研究所長
1977年早稲田大学政治経済学部卒業後、日本開発銀行（現・日本政策投資銀行）入行。2009年同行取締役常務執行役員。この間、2000年より設備投資研究所主任研究員を兼務。2012年設備投資研究所長に就任。専門は都市政策,地域開発,事業金融。主な著書に『変わる日本の国土構造―新しい国づくりの視点』(ぎょうせい),『都市のルネッサンスを求めて』(共編,東京大学出版会)など。

<p>パネルディスカッションⅡ</p>	
<p>13:00</p>	<p>開場</p>
<p>13:30 – 15:00</p>	<p>グローバル新時代における経済・経営・会計の一体的改革</p> <p>世界的な金融危機を契機として、資本主義経済の再構築に加えて、企業経営と会計ディスクロージャーの新しいあり方が問われています。倫理,節度,信頼,共生価値,統合思考をキーワードに、グローバル新時代における持続可能な経済社会へ向けたインプリケーションを探ります。</p>
<p>【パネリスト】</p>	<p>八田 進二 氏（青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授）</p> <p>大瀧 雅之 氏（東京大学社会科学研究所教授）</p> <p>小西 範幸 氏（青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授）</p> <p>安藤 聡 氏（オムロン株式会社執行役員経営 IR 室長）</p>
<p>【モデレーター】</p>	<p>神藤 浩明（設備投資研究所副所長兼経営会計研究室長）</p>

八田 進二 氏 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授
1982年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了,博士（プロフェッショナル会計学）。駿河台大学経済学部助教授・同教授,青山学院大学経営学部教授などを経て、2005年4月より現職。一般財団法人会計教育研修機構理事,日本内部統制研究会会長,日本監査研究会理事,金融庁企業会計審議会臨時委員（監査部会）,㈱日本政策投資銀行社外監査役などを兼務。主な著書に、『会計プロフェッションと監査』(同文館出版)など。

大瀧 雅之 氏 東京大学社会科学研究所教授
1990年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了,経済学博士。神奈川大学経済学部専任講師,青山学院大学経済学部助教授,東京大学社会科学研究所助教授を経て、2001年4月より現職。この間、大蔵省財政金融研究所主任研究官,経済企画庁経済研究所客員主任研究官なども務める。主な編著書に、『金融システムと金融規制の経済分析』(編著,勁草書房),『国際金融・経済成長理論の基礎』(勁草書房)など。

小西 範幸 氏 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授
1992年南山大学大学院経営学研究科博士後期課程修了,博士（経営学）。岡山大学大学院社会文化科学研究科教授・大学院組織経営専攻長を経て、2009年4月より現職。日本経営分析学会理事,日本ディスクロージャー研究会理事,国際会計研究会理事,公認会計士試験委員,㈱日本政策投資銀行設備投資研究所客員主任研究員などを兼務。最新の論文に、「統合報告制度の確立―統合報告がもたらす経営・会計のイノベーションに期待して―」『会計・監査ジャーナル』日本公認会計士協会, Vol.26 No.9,pp.103-112（2014,9）。

安藤 聡 氏 オムロン株式会社執行役員経営 IR 室長
1977年慶應義塾大学法学部卒業,東京銀行（現三菱東京UFJ銀行）入行,2007年同行退職。同年オムロン㈱入社,常勤監査役を経て,2011年より現職。2012年経済産業省主催「企業報告研究会」企画委員会委員に就任,2014年IIRC（国際統合報告評議会）日本事務局主催「統合報告実務者意見交換会」に参画。主な論文に,「オムロンの企業理念経営と統合報告」『企業会計』第66巻第5号（2014）など。

<p>パネルディスカッション</p>	
<p>10:00</p>	<p>開場</p>
<p>10:30 – 12:00</p>	<p>日本経済は長期低迷から脱却できるのか？ ―金融セクターの果たすべき役割―</p> <p>日本経済はこのところ小康を保っていますが、長期低迷から脱却し人口減少下で持続可能な発展を実現できるのか、依然として予断を許さない状況にあります。マクロ経済や企業セクターの諸課題を中心に今後の日本経済を展望し、金融セクターのあるべき姿や果たすべき役割について考えます。</p>
<p>【パネリスト】</p>	<p>植田 和男 氏（東京大学大学院経済学研究科教授）</p> <p>花崎 正晴 氏（一橋大学大学院商学研究科教授）</p> <p>福田 慎一 氏（東京大学大学院経済学研究科教授）</p> <p>村瀬 英彰 氏（学習院大学経済学部教授）</p>
<p>【モデレーター】</p>	<p>中村 純一（設備投資研究所副所長兼金融経済研究センター長）</p>

植田 和男 氏 東京大学大学院経済学研究科教授
1974年東京大学理学部卒業,マサチューセッツ工科大学 Ph.D. (Economics)。プリティッツュコロンビア大学経済学部助教授,大阪大学経済学部助教授,東京大学経済学部助教授,同教授,日本銀行政策委員会審議委員を経て、2005年4月より現職。この間、大蔵省財政金融研究所主任研究官,GPIF運用委員長なども務める。2008年10月より当社社外取締役。主な著書に、『ゼロ金利との闘い―日銀の金融政策を総括する』(日本経済新聞社)など。

花崎 正晴 氏 一橋大学大学院商学研究科教授
1979年早稲田大学政治経済学部卒業,早稲田大学博士（経済学）。1979年日本開発銀行（現・日本政策投資銀行）入行。設備投資研究所,OECD経済統計局派遣,調査部,総務部,ブルッキングス研究所派遣,一橋大学経済研究所派遣などを経て、2007年10月より2012年3月まで設備投資研究所長。2012年4月より現職。主な著書に、『企業金融とコーポレート・ガバナンス―情報と制度からのアプローチ』(東京大学出版会)など。

福田 慎一 氏 東京大学大学院経済学研究科教授
1984年東京大学経済学部卒業,イエール大学 Ph.D.(Economics)。横浜国立大学経済学部助教授,一橋大学経済研究所助教授,東京大学大学院経済学研究科助教授を経て、2001年12月より現職。現在,金融審議会委員も務める。主な編著書に、『価格変動のマクロ経済学』(東京大学出版会),『マクロ経済学・入門』(共著,有斐閣),『日本の長期金融』(編著,有斐閣),『金融論―市場と経済政策の有効性』(有斐閣)など。

村瀬 英彰 氏 学習院大学経済学部教授
1986年東京大学経済学部卒業。1991年東京大学大学院経済学研究科博士課程を退学し,横浜国立大学経済学部助教授に就任。以後,名古屋市立大学経済学部助教授,同教授を経て,2013年4月より現職。主な著書・論文に『シリーズ新エコノミクス 金融論』(日本評論社),『ゼミナール国際金融 基礎と現実』(共著,東洋経済新報社),「権利の束としての不動産：オプション理論による解明」(日本経済新聞社『不動産市場の経済分析』所収)など。

特別講演 I

13:15 開場
 13:45 - 14:45 **人口減少時代のまちづくり**

【講師】 大西 隆 氏

大西 隆 氏 豊橋技術科学大学学長・日本学術会議会長・東京大学名誉教授

1980年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（都市工学専攻）。長岡技術科学大学，アジア工科大学院，東京大学工学部の助教授を経て，1995年東京大学大学院工学系研究科教授。2013年慶應義塾大学大学院特別招聘教授，東京大学名誉教授。2014年豊橋技術科学大学学長。工学博士（東京大学）。専門は都市計画，地域計画，社会システム工学，安全システム。日本都市計画学会会長，日本計画行政学会会長，日本テレワーク学会代表幹事など数多くの要職を歴任。2011年日本学術会議会長に就任した。



特別講演 II

16:20 開場
 16:50 - 17:30 **日本経済の現状と金融政策運営**

【講師】 岩田 規久男 氏

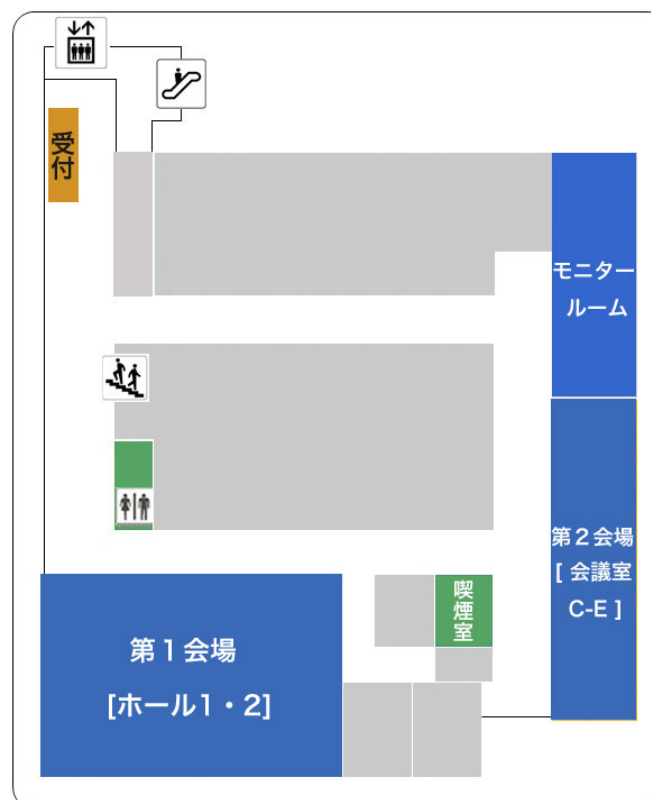
岩田 規久男 氏 日本銀行副総裁

1966年東京大学経済学部卒業，1973年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。上智大学経済学部専任講師，同助教授，同教授，学習院大学経済学部教授を経て，2013年3月より現職。この間，U.C.バークレー，サセックス大学，オーストラリア国立大学などで客員研究員を歴任。主な編著書に、『企業金融の理論』（共著，日本経済新聞社），『金融入門』『国際金融入門』（いずれも岩波新書），『デフレの経済学』（東洋経済新報社），『昭和恐慌の研究』（編著，東洋経済新報社），『日本経済再生まずデフレをとめよ』（日本経済新聞出版社）など。



特別講演 II につきましては，講演映像の視聴可能な別室（モニタールーム）へのご案内となる場合がございます。大変恐縮でございますが，ご了承のほどお願い申し上げます。

会場のご案内



設備投資研究所 設立 50 周年 記念シンポジウム

2014年9月25日（木）10:30 - 17:30 [開場 10:00]
 大手町フィナンシャルシティ・カンファレンスセンター
 主催：日本政策投資銀行設備投資研究所